

# 「第3回ファシリテーション勉強会 in 沖縄」実施レポート

日時： 2008年3月10日（月）18時30分～22時00分

会場： 株式会社カルティベイト セミナールーム（那覇市安謝）

テーマ： 『フランス・パリにおける旅行博（架空）への参加企画書を作ってみる』

趣旨： これまで第1回、第2回の勉強会でフレームワークやプログラムデザインといったファシリテーションの「サワリ」の部分を体験してきたことを踏まえ、第3回は自分たちでプログラムをデザインし、フレームワークを体験することを趣旨に開催した。

参加者： 8名（行政、ホテル業、経営コンサルタント、新聞社、高校教諭など）

報告： 株式会社目加田経営事務所 知念諭&株式会社カルティベイト 平井雅

## 【内容】

18:50 頃 うちなータイム（バッファとして予定済み）でスタート

### 1) これまで経緯の説明（新垣）

本日のテーマ「フランス・パリにおける旅行博（架空）への参加について」に向けて2回にわたって企画会議を開催したこと、そこで作成した曼荼羅、マインドマップを参加者全員で再確認。

### 2) 各担当者決め

今会議ファシリテーター・平山  
ミニケースファシリテーター・平井  
グラフィッカー・吉田  
プロセスチェッカー・知念

2) 自己紹介 「もし3億円あったらどうする」への問いに参加者がそれぞれアツイ思いを語る  
「後進国で学校を作りたい!!」  
「資本金にあて、事業拡大に使いたい」  
「ローンの返済に当てたい」 など

※平山さんの体育会系ファシリテーションでテンションを上げていただきました。

19:25 今夜のスケジュールの確認

19:30 プロセス(共有)

平井氏から添付の「ファシリテーション勉強会用ミニケース～フランス・パリにおける旅行博（架空）への参加について」に基づき説明、前提条件を確認した。

マインドマップの作成

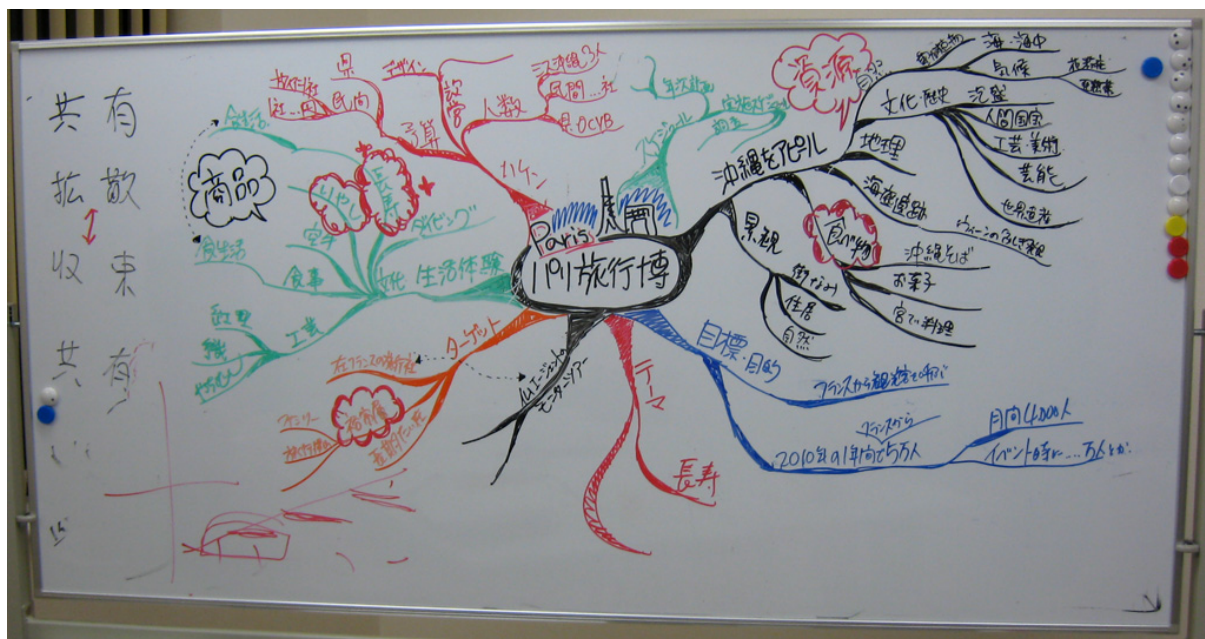
グラフィッカーは吉田氏。全員で意見を出し合いマインドマップ作りに入る。



19:40-21:00 プロセス(拡散・収束)

「沖縄をアピール」という枝から参加者の自由な意見が広がる（詳細はアウトプットのマインドマップで確認できます）

拡散が一定ラインを超えると、すかさず平井さんがフレームワークで皆の意見を収束へと促す



拡散した意見が収束へとつながった（ターニングポイント）時のフレームワークの切り口

- 「対象を絞る」
- 「目標・目的（数字の設定）」
- 「予算（年次計画）」
- 「商品」
- 「テーマ」

以上を踏まえながら時折、以下のポイント（使用方法）を押さえて議論は進んだ

- ①チャンクアップ、チャンクダウン ②タイムライン ③フレームワークなど

※特に、拡散と収束の使い分けとフレームワークの使い方に意識をした進行となった。

### 21:00-22:20 頃 プロセス(共有)

下記参照の「気づいた事/持ち帰るもの」を踏まえて、会議で起こったことへの参加者それぞれのその時の気持ちをザックバラに伝え、なぜそのような感情が起こったのか、意見を述べたのかを話し合い、会議全体の流れを確認した。

発表：今夜気づいた事

- 意見の発散に違和感を持つ人がいるコト
- マインドマップは創造型会議に有効
- 意見の発散に違和感を持たない人がいるコト
- 会議の内容結果に幸せを感じる人がいる
- 会議は本来、楽しいものだった
- 皆がマインドマップを指さして意見を出していた←感情的にならなかった
- 共有、拡散、収束を知らないと会議の質はあがらない

持ち帰るもの

- プロセスチェッカーを今後の会議に持つ（ファシリテーション）
- 会議に質を見極めて進行方法を考える←冷静に見ることが出来る
- 幸せな気分

- 議論のポイントをしぼるタイムライン
- マインドマップの活用
- グランドルールを決める
- フレームワークの使い方
- 会議の参加者も共有、拡散、収束を知ってもらう
- マインドマップの描き方
- 上間さんからファシリテーターとしての宿題をいただいた

第3回勉強会は参加者全員が役割分担をしながらマインドマップ作成・確認をもって終了した(吉田さんのマインドマップがステキでした)。2回の企画会議を経ての勉強会となったので、曼荼羅の意味、使い方についても少しずつ理解が深まってきた。

22:30 終了→泡(盛)の会

いつもの「あみく村」にて1時頃まで盛り上がりました！



会議をして初めて幸せな気分を味わったという平山さん(右側一番手前)、本当に満足げですね。(^.^)